

2021 年度ルートイン BC リーグ公式戦ルール

【延長戦】

試合は 9 回までとする。延長戦は行わない。

【ノーゲーム】

- (1) 試合は 5 回終了をもって成立する。5 回表終了時点でホーム球団がリードしている場合は、試合が成立したものとみなす。
- (2) 試合成立前に雨天等によって試合が中断された場合、ゲーム続行の可否は責任審判員が判断する。
- (3) そのままゲーム続行が困難となった場合は、ノーゲームとして改めて再試合を行う。
- (4) 他地区交流戦において、同カードが二度中止になった場合、0 対 0 の引き分けとして扱う。

【指名打者】

指名打者制（DH 制）を採用する。

【予告先発】

- (1) 予告先発を採用する。発表は試合前日の午後 3 時とする。
- (2) 発表後は原則として変更できない。ただし、発表日の試合が雨天中止またはノーゲームとなった場合はこの限りではない。
- (3) 止むを得ない理由で発表後に変更された投手は、その日を含む 3 試合に出場することはできない。

【選手契約・出場選手】

- (1) 各球団が契約できる選手は A 契約と B 契約を合わせて 27 名を上限とする。
- (2) 公式戦の出場選手登録ができる選手は A 契約選手を 9 名以上とし、27 名を上限とする。
- (3) 一度登録を抹消された選手の登録は、抹消日から 6 日間経過した以降でないこと認められない。
- (4) 公式戦において同時に出場できる元プロ野球選手と外国籍選手数の定めはないものとする。
- (5) 選手は当該年度の 4 月 1 日に 26 歳になるシーズンをもって退団しなければならない。球団は 27 歳以上の選手を 6 名まで保有することができる。
但し、2021 シーズンについては 27 歳以上の選手の保有人数に制限を設けないこととする。
- (6) NPB からの派遣選手は出場登録の 27 名とは別に 1 球団 3 名を限度に登録することができる。
但し、他地区交流戦とプレーオフについての出場登録は NPB 派遣選手 3 名を含めて最大 27 名とする。

【規定打席・規定投球回】

- (1) 規定打席は、所属球団の試合数×2.7 打席とする。
- (2) 規定投球回は、所属球団の試合数×0.8 回とする。

【優勝決定方法】

各地区の優勝は、勝率により決し、下記算式によりその勝率を算出する。

■勝率＝勝利数÷（勝利数＋敗戦数）

■勝率が同率の場合には、下記の順に優位な球団を優勝とする。

- (1) 当該カードの当期の対戦成績
- (2) 総得失点差
- (3) 総得点数

【プレーオフ】

■準決勝ラウンド

- (1) 全3戦とし、2戦先勝したチームが決勝ラウンドへ進出する。
- (2) 各地区の優勝チーム3球団とワイルドカード進出チーム1球団の計4球団が対戦する。
ワイルドカード：各地区2位のチームの中で1番勝率が高いチームとする。
ワイルドカード対象チームで勝率が同率の場合には、以下の順に優位な球団をワイルドカード進出チームとする。
①総得失点差 ②総得点数 ③抽選
- (3) 9回裏終了後に同点の場合は、延長戦を行う。
- (4) 延長戦は最長15回迄とし、ローカルルール等の制限以外は時間制限は設けない。
- (5) 全3戦を終えた時点で1勝1敗1分等対戦成績がタイの場合は追加で1試合を行う。
追加の試合は予備日が設定されている日程までとする。
- (6) 雨天等により予備日も含め全日程が消化できず、勝敗分数が同数かつ翌日に再試合を行う日程が無い場合は、次の順に優位な球団を勝利とする。
①準決勝の総得失点差 ②公式戦の勝率 ③公式戦の総得失点差 ④公式戦の総得点数

■決勝ラウンド

- (1) 全5戦とし、3戦先勝したチームの優勝とする。
- (2) 9回裏終了後に同点の場合は、延長戦を行う。
- (3) 延長戦は最長15回迄とし、ローカルルール等の制限以外は時間制限は設けない。
- (4) 全5戦を終えた時点で2勝2敗1分等対戦成績がタイの場合は追加で1試合を行う。
追加の試合は予備日が設定されている日程までとする。
- (5) 雨天等により予備日も含め全日程が消化できず、勝敗分数が同数かつ翌日に再試合を行う日程が無い場合は、次の順に優位な球団を勝利とする。
①決勝の総得失点差 ②公式戦の勝率 ③公式戦の総得失点差 ④公式戦の総得点数